

九州大学総長 有川節夫殿

松遙会（九州大学工学部建築学科同窓会）会長：常岡稔

今後の箱崎キャンパスの取り扱いについて(案)

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私共松遙会は、九州大学工学部建築学科の同窓会として昭和 55 年に設立され、現在の会員数は平成 23 年度卒業の 55 回生まで含め 2,900 名を超える団体です。会員には、大学時代に学んだ専門知識を背景として、民間企業、官公庁、大学等で活躍している建築・都市計画の専門家が数多く含まれています。

九州大学では伊都キャンパスへの移転事業を展開されているところではありますが、「箱崎キャンパスの取り扱い」については、今後、福岡市をはじめとした関係各者と様々な検討を行っていく段階であると認識しております。

この、「箱崎キャンパスの取り扱い」についてですが、大学の卒業生という立場だけでなく、建築・都市計画に関する専門家の集団である松遙会として、どのように取り組むべきかについての会員への意見募集を行いました。その結果は、下記のように九州大学の卒業生として原風景の保存を要望する意見から、建築・都市計画の専門家として歴史的建築物の保存、学術的な調査の実施、事業・設計コンペ実施、今後の建物の形態規制、大胆な再開発といった意見まで、多種多様な意見が集まりました。

会員の意見①

- ・箱崎キャンパス跡地の位置づけと期待
 - ・世界環境共生都市展の開催（新都市環境の国際コンペ、エコタウン計画・ライフスタイルの提案）
 - ・アジア人間環境研究所創設（木材等再生可能資源利用、建設技術・産業振興）
 - ・資源循環・環境共生の人間環境都市建設（新都市居住環境の構築、木造主体の「緑のまち」建設）
- ・箱崎キャンパスは福岡市の貴重な社会資源であり、その戦略的価値の評価、最大限の可能性追求が重要

会員の意見②

- ・プロフェッショナル・アイデンティティを踏まえた提案の必要性
 - ・建物・地物などの価値評価における独自性
 - ・歴史的建造物は保存・利活用の域を超えた新しいデザイン創造の素材
 - ・ゾーニング主義からの離脱 ～ 一体型・一大緑樹帯構想 ～
 - ・キャンパス移転統合への提案 ～ 一部移転箱崎はコンパクトキャンパスを形成 ～
 - ・航空機騒音を逆手に取ったエネルギー化や騒音対策の実験
- ・松遙会による箱崎キャンパスの未来像(計画提案)のコンペまたはプロポーザルの実施

会員の意見③

- ・箱崎キャンパスには勿論それなりに歴史的価値はあるがローカルな範囲。工学部本館等の初期の建物群の調査と復元図の作成は必要だが、実際の建物の保存は必要ない。

会員の意見④

- ・箱崎キャンパスは貴重な歴史を感じることができ、今の形が残ることを切望する。箱崎という地理条件から活用される場所であるが、マンションや大型商業施設等はどうもなじまない。

会員の意見⑤

- ・関東の大学に赴任しているが、かつて学んだ九州大学建築学科にとっても愛着を持っている。母校の建物がなくなるのは寂しく、実務の大学キャンパス計画の実績を生かして何か協力をしたい。

会員の意見⑥

- ・「アジア都市 FUKUOKA のシンボルとなる新時代の町割 流れとコミュニティづくり」
 - ・単純入札による切り売りを防ぐためのアーバンデザイン（建築ガイドライン・生活環境の質の改善）
 - ・歴史的建物の保存活用を前提として居住者・ワーカーの積極的利用
 - ・公益的施設は目玉集客施設として老朽化した既存施設を移転・整備
 - ・既存のマストランジットを活かして周辺地区のさらなるポテンシャル向上を図る整備
 - ・3号線や鉄道駅から利用しやすい貝塚公園の高度利用と防災活動拠点としての活用

会員の意見⑦

- ・工学部の本館や本部棟など歴史的建物は保存（民間開放を行いその収入で保存費用等を確保）
- ・緑のオープンスペースの確保（近隣住民の憩いの場、災害時の避難場所として活用）
- ・知と創造の場所づくり（元大学用地としてし、住民学習場、図書館誘致など地域貢献を実施）
- ・地区計画に基づく形態コントロール（歴史的雰囲気との保存と積極的整備）

松遙会として具体的な提案を取りまとめることは、会設立の趣旨を鑑みると実施すべきではないと考えています。しかし、会員間の意見交換活動や提出された様々な意見から強く感じる事ができた、下記のような思いを松遙会員が共有しています。これを、是非とも大学総長にお伝えしたく文章として取りまとめました。

①愛情や思い入れのある箱崎キャンパス

会員は九州大学の卒業生、建築の専門家として、箱崎キャンパスの街並み、風景、建物に対して愛情や強い思い入れを感じています。

②建築の専門家としての意見

建築・都市計画の専門家として跡地利用検討に関する様々な意見を持っている多くの会員がいます。今後は積極的な情報の公開、意見提案の機会を提供して頂くことを切望します。

③歴史・文化の継承

箱崎キャンパスには歴史的、文化的に貴重な建築物が数多く残されています。伊都キャンパス移転後の箱崎キャンパスでは、そのような歴史、文化を継承する街づくり、再開発を行ってほしいと願っております。

なお、会員の意見として提出された具体的な提案の一部を松遙会HP（<http://www.shouyoukai.jp/>）に公開しておりますので、ご一読頂ければ幸いです。

敬具